

2022年9月21日

集塵スピード約 2.0 倍<sup>※1</sup> を実現  
「サーキュレーター付加湿空気清浄機」を発売  
加湿空気清浄機とサーキュレーターが一体化



アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、サーキュレーターと加湿空気清浄機を一体化することで、集塵スピード約 2.0 倍<sup>※1</sup> を実現した「サーキュレーター付加湿空気清浄機」を 2022 年 10 月 8 日より、全国の家電量販店やインターネットサイトを中心に販売します。

コロナ禍で健康や感染予防に対する意識の高まりを受けて、在宅中も室内の空気を浄化できる空気清浄機が注目されています<sup>※2</sup>。特に空気が乾燥する日が多くなる冬場には、加湿機能が付いた空気清浄機を使用する家庭が増えています。

今回、新たに発売する「サーキュレーター付加湿空気清浄機」は加湿空気清浄機にサーキュレーターを搭載し部屋の空気を攪拌することで、部屋の奥の花粉やほこり、ハウスダストなどを素早く効率的に集塵し、脱臭できます。これにより、サーキュレーター非稼働の場合と比較して集塵スピードが約 2.0 倍<sup>※1</sup>、集塵量が約 1.6 倍<sup>※3</sup>、脱臭スピードが最大 1.5 倍<sup>※4</sup> という高性能を実現しています。さらにサーキュレーターの直進的な風に乗せて加湿された空気を広範囲に送ることで、本体から離れた場所にも潤いを届けます。

当社は今後も生活者の暮らしに寄り添った商品開発を行い、快適な生活の実現に貢献していきます。

※1：当社調べ。風量設定：ターボモード。試験方法：約 6m<sup>3</sup> の試験空間にて、白煙を発生させてサーキュレーターの稼働および非稼働状態で、集塵に要する時間を評価。試験結果：サーキュレーター稼働状態で約 110 秒、非稼働状態で約 220 秒であった。対象物質や温湿度などの環境条件によって、効果は異なります。

※2：一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）「2022 年度 電気機器の見通し」より。

※3：当社調べ。風量設定：ターボモード。試験方法：約 72m<sup>3</sup> の試験空間にて、わたぼこりを発塵してサーキュレーターの稼働および非稼働状態で、集塵量を評価。試験結果：サーキュレーター稼働状態では非稼働状態と比較して 1.6 倍以上の集塵量であった。ほこりの種類や温湿度などの環境条件によって、集塵効果は異なります。

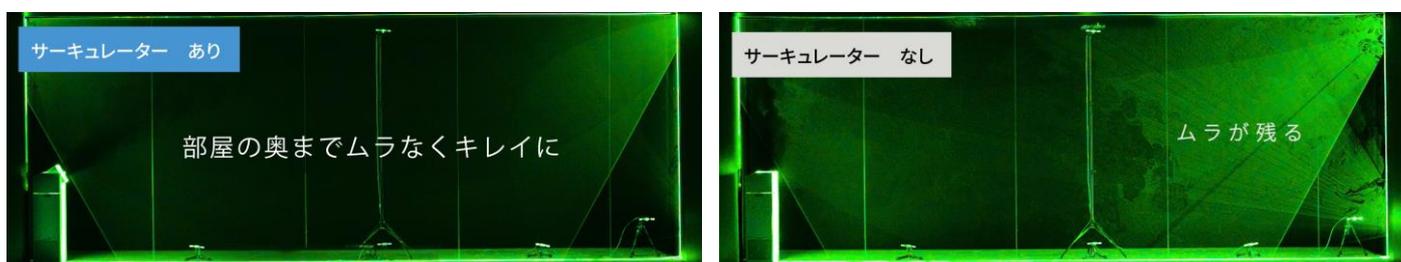
※4：当社調べ。風量設定：ターボモード。試験方法：約 72m<sup>3</sup> の試験空間にて、たばこを燃焼させてサーキュレーターの稼働および非稼働状態で、におい物質の濃度低減を評価。試験結果：脱臭に要する時間が、サーキュレーター稼働状態で約 10 分、非稼働状態で約 15 分。ニオイの種類・強さ・温湿度などの条件によって、消臭効果は異なります。

## ■「サーキュレーター付加湿空気清浄機」商品特長

1. 集塵スピード約 2.0 倍<sup>※1</sup>を実現
2. サーキュレーターにより広い範囲に潤いを届ける

### 1. 集塵スピード約 2.0 倍<sup>※1</sup>を実現

サーキュレーターを搭載することで、部屋の奥の花粉やほこり、ハウスダストなどを素早く効率的に集塵し、脱臭できます。サーキュレーターの直進的な送風と左右の自動首ふり機能で空気を攪拌させることで、サーキュレーター非稼働の場合と比較して集塵スピードが約 2.0 倍<sup>※1</sup>、集塵量が約 1.6 倍<sup>※3</sup>、脱臭スピードが最大 1.5 倍<sup>※4</sup>という高性能を実現しています。



### 2. サーキュレーターにより広い範囲に潤いを届ける

サーキュレーターの直進的な風に乗せて加湿された空気を広範囲に届けます。タンク容量は約 2.7L で最大約 10 時間連続使用<sup>※5</sup>できるため、睡眠中も水を継ぎ足すことなく加湿し続けることができます。また、加湿機能を使わずに「サーキュレーター×空気清浄機」のみでも使用できるため、換気やエアコンと併用しての冷暖房の効率化などオールシーズンで活躍します。

#### 【その他の特長】

- ・HEPA フィルター搭載でウイルスは 99%以上除去<sup>※6</sup>でき、たばこの煙などに含まれる 0.3 $\mu$ m の粒子は 99.97%以上集塵<sup>※7</sup>できます。
- ・空気清浄の適用床面積は 25 畳です。
- ・マイナスイオンが発生するイオンモードが搭載されています。

※1：当社調べ。風量設定：ターボモード。試験方法：約 6m<sup>3</sup>の試験空間にて、白煙を発生させてサーキュレーターの稼働および非稼働状態で、集塵に要する時間を評価。試験結果：サーキュレーター稼働状態で約 110 秒、非稼働状態で約 220 秒であった。対象物質や温湿度などの環境条件によって、効果は異なります。

※3：当社調べ。風量設定：ターボモード。試験方法：約 72m<sup>3</sup>の試験空間にて、わたぼこりを発塵してサーキュレーターの稼働および非稼働状態で、集塵量を評価。試験結果：サーキュレーター稼働状態では非稼働状態と比較して 1.6 倍以上の集塵量であった。ほこりの種類や温湿度などの環境条件によって、集塵効果は異なります。

※4：当社調べ。風量設定：ターボモード。試験方法：約 72m<sup>3</sup>の試験空間にて、たばこを燃焼させてサーキュレーターの稼働および非稼働状態で、におい物質の濃度低減を評価。試験結果：脱臭に要する時間が、サーキュレーター稼働状態で約 10 分、非稼働状態で約 15 分。ニオイの種類・強さ・温湿度などの条件によって、消臭効果は異なります。

※5：静音モード時。

※6：試験依頼先：(一財)日本食品分析センター。試験成績書：第 21052531001-0101 号。風量設定：ターボモード。試験方法：約 25m<sup>3</sup>の試験空間で日本電機工業会 JEM 1467 の性能評価試験を参考に実施。試験対象：浮遊した 1 種類のウイルス。試験結果：約 32 分で 99%除去。

※7：フィルターの性能試験に基づく性能であり、実機の性能とは異なります。このフィルターでは 0.3  $\mu$ m 未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるわけではありません。PM2.5 とは 2.5  $\mu$ m 以下の微小粒子状物質の総称です。

## ■製品仕様

商 品 名	サーキュレーター付加湿空気清浄機						
画 像							
型 番	KCHA-A55-W						
定 格 電 圧	AC100V						
定 格 周 波 数	50/60Hz						
運 転 モ ー ド	空気清浄			加湿空気清浄			
		ターボ	標準	静音	ターボ	標準	静音
消費電力(W)	首ふり オフ	91	28	19	94	31	21
	首ふり オン	92	29	21	95	32	23
加 湿 量 ( mL/h )※8		_※9			500	320	265
適 用 床 面 積 ( 畳 )		25※10			木造住宅和室 8.5※11 プレハブ住宅洋室 14※11		
連 続 加 湿 時 間					約5.5時間	約8.5時間	約10時間
タ ン ク 容 量		約2.7L					
動 作 温 度		5~35℃					
外 形 寸 法		幅271×奥行282×高さ880mm					
質 量 ( 水 を 含 ま ず )		約12.2kg					
電 源 コ ー ド 長		約2.4m					
価 格		オープン価格					
発 売 日		2022年10月8日					

※8：室温 20℃、湿度 30%の条件下での加湿量です。室内の温度や湿度によって、加湿量は異なります。

※9：水タンクに水が入っている場合は、水タンクの水が減りわずかに加湿します。

※10：適用床面積の数値は JEM1467 に基づく数値です。（「ターボ」モード時）

※11：適用床面積の数値は JEM1426 に基づく数値です。（「ターボ」モード時）